

特別公開講座 福岡×新潟連携企画

世界遺産

さど

「佐渡島の金山」の価値と魅力

佐渡（新潟県）では、江戸時代に鉱山開発が本格化しました。この時期、世界では機械による採掘が発展したものの、鎖国政策下による日本では徳川幕府によって効率的な手工業を実現するための管理体制と労働体制が構築され、高品質の金を大量に生産することができました。これらは、現地で良好に残る鉱山や集落の遺跡によって証明されており、同じ文化圏のアジアにおいても他に類を見ないことから、令和6年7月、世界遺産に登録されました。この講座では、世界遺産登録1周年を迎えた「佐渡島の金山」の価値と魅力について学びます。



[日時] 令和7年 9月7日（日） 13:00～15:00

[場所] 海の道むなかた館 講義室
〒811-3504 福岡県宗像市深田588 (TEL 0940-62-2600)

[講師] 滝沢 規朗（新潟県観光文化スポーツ部文化課世界遺産室長）

[定員] 80名 [受講料] 無料

[お申し込み] 7月21日（月）より申込専用フォームにてお申込みください（先着順）。
定員になり次第、受付を終了します。申込完了時点で参加決定です。
参加者決定連絡は行いませんのでご注意ください。

[主催・お問い合わせ]

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会（事務局：福岡県世界遺産室）

TEL 092-643-3162 FAX 092-643-3163 MAIL sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp



申込専用フォーム